

和歌山市文化表彰式

と き 令和7年(2025年) 11月3日(月) 午後1時30分から

ところ 和歌山城ホール 大会議室

開 会

国歌斉唱

市歌斉唱

主催者あいさつ

功績紹介

表彰状授与

各章贈呈

祝 辞

来賓紹介

選考委員会委員紹介

昨年度までの受賞者紹介

受賞者代表あいさつ

祝典曲演奏

閉 会



ごあいさつ

和歌山市長 尾 花 正 啓

すすきの穂が光り輝き、澄んだ空がどこまでも高いこの佳き日に、令和7年度和歌山市文化表彰式典の日を迎えることができましたことを、誠に喜ばしく心からお祝い申し上げます。

和歌山市では、昭和57年より毎年、本市の文化向上、発展に顕著な功績のある個人又は団体に対し表彰を行っており、本年度で44回目を迎えます。

本年度受賞されます皆様は、それぞれの道において長くとゆまぬ努力と精進を重ねられ、本市はもとより我が国の文化の向上、発展に多大なる功績を残された方々でございます。その輝かしい功績の数々は、本市の誇りであり、皆様方のあふれる英知と不断の研鑽に対し深く敬意を表する次第です。

本年は、日本で20年ぶりに『大阪・関西万博』が開催され、本市の伝統文化などの魅力を国内外に発信する大きな機会となりました。この万博を契機として豊かな自然と歴史の中で育まれてきた伝統文化や民俗芸能など、本市が誇る多様な文化の魅力を今後も広く発信するとともに、先人たちが守り伝えてきた貴重な文化を郷土の誇りとして未来へと継承すべく、その振興と発展に一層努めてまいる所存です。皆様には、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、受賞者の皆様のさらなるご活躍と、ご臨席の皆様方のご健勝を心よりお祈り申し上げ、挨拶の言葉といたします。

令和 7 年度

文化賞 文化功勞賞 文化奨励賞受賞者

文化賞



氏 名 多田 佳^{ただ}壱^{かよこ}子
現 住 所 和歌山市
出 身 地 和歌山市
生 年 昭和14年

声楽家・演出家

業績及び経歴

武蔵野音楽大学短期大学部声楽科を卒業。卒業後5年間マスネヴァ・ブレンチコバ氏に師事。昭和37年から音楽活動を本格的に開始し、音楽教員として後進の育成・指導にあたる。

「和歌山市民オペラ協会」の前身である「和歌山声楽研究会」を昭和39年に立ち上げ、以来、ソリストとして出演するほか、プロデューサー、ディレクター、指導者として、本市に本格的なオペラを根付かせる活動を60年にわたり行い、本市の舞台芸術の先駆者として現在も第一線で活躍している。これまでに多岐にわたる作品を上演し、子ども向けオペラも手掛けるなど、幅広い層に向けた文化活動を展開している。

また、氏は平成14年度文化庁芸術団体重点支援事業として東京室内歌劇場と連携し行われたオペラ「虎月傳」にて主役を演じ好評を博した。また、新作オペラでは、道成寺を舞台とする安珍・清姫の伝説など和歌山にゆかりのある人物や物語にスポットを当てた作品で演出家としての力を遺憾なく発揮している。特に広川町出身の政治家・実業家である濱口梧陵を題材とした作品は、令和4年に「第20回佐川吉男音楽賞」を受賞し、地域を超えて高く評価された。

こうした活動の傍ら、音楽療法を活用したボランティア活動や市民を対象とする音楽教室として本市コミュニティセンターで開講している「唱歌の学校」、リビングカルチャー倶楽部で開講している「～歌の花束～ 多田佳壱子と歌おう」では講師、ボイストレーナーを務め、子どもを対象としたオペラの体験教室を開催するなど音楽を通じて地域に大きく貢献している。

氏の長年にわたる音楽活動、後進の育成は、オペラの普及と本市の音楽文化の向上・発展に大きな役割を果たしており、その功績は極めて顕著である。

現 在

和歌山市民オペラ協会会長
和歌山文化協会洋楽部長
公益財団法人日本演奏連盟会員
和歌山音楽療法研究会理事長
全日本オペラネットワーク運営委員

主な受賞歴

平成24年 平成24年度和歌山県社会福祉功労者表彰
同29年 和歌山県知事表彰
同30年 平成30年度和歌山市文化功労賞
令和3年 令和3年度和歌山県文化功労賞
同6年 令和6年度地域文化功労者表彰

文化功労賞



氏 名 こにし 小西 かつゆき 克幸
現 住 所 東京都
出 身 地 和歌山市
生 年 昭和48年

声優

業績及び経歴

高校で映画研究会に所属し、その後、勝田声優学院に11期生として入学。同学院卒業後、野村道子氏、野沢那智氏、内海賢二氏が講師を務める養成所に1期生として入所し、翌年、野村道子氏に誘われ賢プロダクションに所属する。

平成8年のデビュー以来、「シャーマンキング」（阿弥陀丸役）、「テイルズ オブ シンフォニア」（ロイド・アーヴィング役）、「ジョジョの奇妙な冒険Part5 黄金の風」（ディアボロ役）などの代表作や、本市の友ヶ島を舞台としたアニメ「サマータイムレンダ」（雁切真砂人役）など、アニメ、ゲーム、映画（吹き替え）、ナレーションといった、主役・メインキャラクターをはじめ、多岐にわたる作品に出演している。特に近年では、社会現象となった「鬼滅の刃」において宇髄天元役を演じ、国民的な認知度を獲得している。

氏の功績は業界内でも高く評価され、第9回声優アワード助演男優賞を受賞するなど熱血系からクールな役柄まで変幻自在に演じ分ける実力派として、その幅広い演技力が認められている。

現在も第一線で活動し、29年以上にわたる継続的な活動を通じてアニメ・ゲーム文化の普及と発展に重要な役割を果たしており、この分野における顕著な功績は、高く評価されるものである。

現在

株式会社賢プロダクション 所属

主な受賞歴

平成26年 第9回声優アワード助演男優賞

主な出演作品 【】内は作品名

平成15年	【テイルズ オブ シンフォニア】ロイド・アーヴィング役
平成30年－令和4年	【ゴールデンカムイ】鯉登音之進役
令和元年	【ジョジョの奇妙な冒険Part5 黄金の風】ディアボロ役
令和元年－令和7年	【鬼滅の刃】宇髄天元役
令和4年	【サマータイムレンダ】雁切真砂人役
令和5年－令和7年	【薬屋のひとりごと】高順役
令和6年	【キン肉マン】ロビンマスク役
令和6年－令和7年	【チ。－地球の運動について－】オクジー役

文化功労賞



氏 名 堀本 裕樹
現 住 所 神奈川県
出 身 地 和歌山市
生 年 昭和49年

俳人

業績及び経歴

國學院大學在学中に鎌田東二師範の「國學院俳句」に入会し、19歳から俳句を始める。出版社勤務、コピーライターを経て、角川春樹主宰の俳句結社「河」に入会。3年間編集長を務める。

平成22年に独立した後は、創作活動と並行して、老若男女幅広い層へ俳句の豊かさや楽しさを伝えるため、「いるか句会」の主宰、池袋コミュニティ・カレッジや角川庭園俳句講座で講師を務める。さらには平成28年度、令和元年度、令和4年度にはNHK俳句の選者を務めた。

また、大学での授業やゲストを招いて行う句会ライブ「HaikuBar」の開催、文筆家や芥川賞作家、ゲーム作家とともに登壇する公開句会「東京マッハ」の開催など、独自の視点での俳句の魅力を発信し続けている。

平成23年に第2回北斗賞、平成25年に『熊野曼陀羅』で第36回俳人協会新人賞、平成27年に第11回日本詩歌句随筆評論大賞、平成27年度和歌山県文化奨励賞を受賞。平成30年には俳句結社「蒼海」を立ち上げ、主宰を務める。また、令和7年度中学校用教科書『伝え合う言葉 中学国語3』（教育出版）の俳句の単元を執筆する。著書も多数出版し、俳句界の第一線で活躍している。氏の幅広い活動は、日本の伝統文化である俳句の価値を現代に伝え、次世代へと継承していく上で大きな意義を持っており、氏の俳句分野における顕著な功績は高く評価されるものである。

現 在

俳人協会評議員
日本現代詩歌文学館振興会評議員
日本学校俳句研究会顧問
「いるか句会」主宰
俳句結社「蒼海」主宰
二松学舎大学非常勤講師
池袋コミュニティ・カレッジ講師
角川庭園俳句講座講師

主な受賞歴

平成23年 第2回北斗賞
同25年 第36回俳人協会新人賞
同27年 第11回日本詩歌句随筆評論大賞
同 平成27年度和歌山県文化奨励賞

主な著書

平成24年 『熊野曼陀羅』
同27年 『芸人と俳人』（ピース又吉直樹氏との共著）
令和6年 『富士山で俳句教室』
同7年 『六四五七五 虫の絵と俳句』

文化奨励賞



氏 名 きむら ゆい 木村 友威
現 住 所 東京都
出 身 地 和歌山市
生 年 昭和59年

作詞家

業績及び経歴

幼少期から歌やダンスに親しみ、やがて音楽の道を志す。16歳の時に、avex artist academy第1期生に合格し、音楽業界への第一歩を踏み出す。

平成24年、韓国の人気グループKARAの「ロックオン」で作詞家としてデビュー。以来、ミリオンを達成したKing & Princeの「Life goes on」や「彩り」、NiziUの「Step and a step」、MISAMOの「Catch My Eye」、SMAPの「無我夢中なLIFE」、最近ではHey!Say!JUMPの「Donkey Gongs」など、国内外の著名アーティストに歌詞を提供している。聴き手に寄り添う作詞を心掛けており、歌唱時や聴く際に、歌詞の言葉が心に響くようにと創作に臨んでいる。

また、作詞活動に加え、化粧品のコピーライトなども行っており、広く言葉を扱う分野で活躍している。

その卓越した活動は音楽文化振興に大きく貢献しており、今後も更なる活躍が期待される。

主な作品（作詞） 【】内は歌手名

【King & Prince】 彩り / Life goes on / MAGIC WORD / Misbehave

【SMAP】 無我夢中なLIFE

【タッキー & 翼】 キミシダイ

【Kinki Kids】 Want You

【timelesz】 革命のDancin' night

【Hey!Say!JUMP】 Donkey Gongs

【家入レオ】 Whenever / Bicolor

【Nissy】 WISH / Mr.Trouble

【すとぷり】 タラレバ

【島谷ひとみ】 Cinderella / Golden Lady

【NiziU】 Baby I'm a star / Step and a step

【ITZY】 No Biggie

【WayV】 Bandage / What A Good Time

【MISAMO】 Catch My Eye

【ELAIZA】 etude / Fantasy

文化奨励賞



団体名 おおたにししまいほぞんかい 大谷獅子舞保存会
創立 平成23年
代表 朝間 義光
所在地 和歌山市

伝統文化（民俗芸能）

業績及び経歴

本会が主宰として活動が続ける大谷獅子舞は、200有余年の歴史を持つ金毘羅宮社の奉納舞である。

起源については、大谷の奥山に大蛇が出て、女・子どもがよく呑み込まれるので、それを伏せるため訪れた山伏から神を諫めるための獅子舞の教えを受け、若者たちがそれらを習ったのが始まりとされている。金毘羅宮社が伊久比売神社へ遷座してからは、夏の盆踊りの後によく舞うようになった。

しかし、満州事変から戦争が激化するにつれて、自粛令により盆踊りも廃れ、獅子舞も行われなくなった。戦後の昭和23年に再開されたものの次第に行われなくなり、昭和52年に再び中断した。

本会は、平成23年に「大谷獅子舞保存会」として、一度は途絶えた地域固有の民俗芸能を復活させた。現在、金毘羅宮社、伊久比売神社での奉納や楠見地区のまつりやイベント、施設等で厳粛で勇壮な演舞を披露している。

後継者育成にも積極的に取り組んでおり、練習用の軽量獅子頭を手作りするなど、新規参加者が気軽に体験できる環境づくりにも努めている。さらに、SNS等を活用した情報発信により、民俗芸能の魅力を広く伝える取り組みも進めている。

現在、若い世代の会員が約半数を占めており次世代への文化の継承に大きく貢献している。本市の伝統文化を復活させ、保存・伝承してきた功績は極めて顕著であり、高く評価されるものである。

昨年度までの受賞者一覧表

〈昭和57年度〉

文 化 賞	杉本 謙 (ヘンリー杉本)	洋画家
文化功労賞	清水 達三	日本画家
文化奨励賞	岡田 昭子 (杉谷 昭子)	ピアニスト
	澤 和樹	ヴァイオリニスト

〈昭和58年度〉

文 化 賞	森 繭	庭園研究家
文化功労賞	木下美代子	文学者
	山本 恵子 (真舟)	書道家
文化奨励賞	松井 彬	能楽師 (喜多流)

〈昭和59年度〉

文 化 賞	藤岡 通夫	東京工業大学・日本工業大学名誉教授
文化功労賞	清水喜代子 (吉村雄輝代)	日本舞踊家
	亀 勝人 (忠男)	写真家
文化奨励賞	杉原真理子	声楽家

〈昭和60年度〉

文 化 賞	樋口 隆康	京都大学名誉教授・泉屋博古館長
文化功労賞	浜 光治	医師 (文化団体代表)
	本谷 惣山	邦楽家
文化奨励賞	宇治田敏昭	劇団主宰

〈昭和61年度〉

文 化 賞	福島 ひさ (竹本 住友)	女流義太夫
文化功労賞	北原 雄一	作曲家
文化奨励賞	和歌山児童合唱団	

〈昭和62年度〉

文 化 賞	中村 善種	洋画家
文化功労賞	和歌山文化協会	

〈昭和63年度〉

文化功労賞	寺中 靖直	洋画家
	中沼 洋子	バレエ
文化奨励賞	和歌山市民合唱団	

〈平成元年度〉

文 化 賞	寺口秀太郎 (関山)	日本画家
文化功労賞	山本 秀臣	洋画家
	荊木 淳己	郷土文学研究家
文化奨励賞	岡崎由美子	洋画家

〈平成2年度〉

文 化 賞
文化功労賞

文化奨励賞

中西 久夫（神坂 次郎）
伊藤 孝文
大谷 滢（煌洲）
金崎二三子

作家
郷土文学者
吟詠家
舞踊家

〈平成3年度〉

文 化 賞
文化功労賞
文化奨励賞

大岡 繁（皓崖）
宇治田正子
岡田 脩（脩克）
中沼 利花

書道家
能楽師
華道家
洋舞家

〈平成4年度〉

文 化 賞
文化功労賞

文化奨励賞

橘 喜久雄
和中 光次
高野 澄子
西田 隆（杵屋勘寿郎）

洋画家
歯科医師（文化団体代表）
創作刺繍作家
三味線奏者

〈平成5年度〉

文 化 賞
文化功労賞

文化奨励賞

稲垣 耕（伯堂）
南垣内文平（泰甫）
小橋 幸子（藤間蔦喜久）
田川 寿美

日本画家
華道家
日本舞踊家
歌手

〈平成6年度〉

文 化 賞
文化功労賞

文化奨励賞

清水 達三
坂田 泰一
森川 隆之
和歌山市吹奏楽団

日本画家
版画家
作曲家

〈平成7年度〉

文 化 賞
文化功労賞

文化奨励賞

池田 貢（式守伊之助）
デイビット・ハリソン・アーナー
井上 務（木州）
小川加代子（華瓣）

伝統文化（立行司）
国際交流
書道家
水墨画家

〈平成8年度〉

文 化 賞
文化功労賞
文化奨励賞

津本 寅吉（陽）
藺田 香融
原 博子（玉置 博子）

作家
文学博士
ピアニスト

〈平成9年度〉

文 化 賞
文化功労賞

文化奨励賞

島村 安彦
有井 新平（潭洲）
岡田 昭子（杉谷 昭子）
岡崎団七踊保存会

写真家
吟詠家
ピアニスト
無形民俗文化財

〈平成10年度〉

文 化 賞
文化功労賞

小林 慶三
児嶋 義一
西本 正治
木ノ本の獅子舞保存会
清水加代子（香予子）

能楽師（観世流）
洋画家
郷土文化財研究家
無形民俗文化財
声楽家（シャンソンヴォーカル）

〈平成11年度〉

文 化 賞
文化功労賞

山本 恵子（真舟）
宮村 泰彦
西村 歌子（萌雲）
岩倉流泳法保存会
青木 進

書道家
洋画家
華道家
無形民俗文化財
作曲家

〈平成12年度〉

文 化 賞
文化功労賞

澤 和樹
宇治田豊子（竹垣みとよ）
まつい のりこ
木下 伸市
黒潮・躍虎太鼓保存会

ヴァイオリニスト
新舞踊家
絵本・紙芝居作家
津軽三味線奏者
和太鼓

〈平成13年度〉

文 化 賞
文化功労賞
文化奨励賞

岡田 昭子（杉谷 昭子）
松井 彬
田中 博行（S A B U）

ピアニスト
能楽師（喜多流）
映画監督・俳優

〈平成14年度〉

文 化 賞
文化功労賞

小池 洋一
久馬 規正
小川加代子（華瓣）
岡谷かおり
和歌祭保存会

地理学者
茶道家
水墨画家
作曲家・ピアニスト
郷土文化

〈平成15年度〉

文 化 賞
文化功労賞

藺田 香融
藤戸 輝一
仁科 實
岩城 久子
示現会和歌山支部

歴史学者
写真家
水彩画作家
日本画家
洋画団体

〈平成16年度〉

文 化 賞
文化功労賞

高野 澄子
岩橋 延直
中谷 幸
宮崎 幸子
和歌山市交響楽団

創作刺繍作家
歯科医師（文化団体代表）
七宝作家
洋画家
オーケストラ

〈平成17年度〉

文 化 賞
文化功労賞

文化奨励賞

児嶋 義一
辻 賀代子（つじ加代子）
名手 隆子（朱舟）
西島 麻子
とらふす少年少女合唱団

洋画家
俳人・エッセイスト
書道家
作編曲家・ピアニスト
合唱

〈平成18年度〉

文 化 賞
文化功労賞

文化奨励賞

伊藤 孝文
リーランド・R・ラトレル
坪井 章訓（澁洲）
西 陽子
木國文化財協会

郷土文学研究家
国際交流
吟詠家
箏奏者
郷土文化

〈平成19年度〉

文 化 賞
文化功労賞

文化奨励賞

亀 勝人（忠男）
勝本 奄子（翠芳）
新井 貞子
宮下 直子
和歌山雅楽会

写真家
書道家
マリンバ奏者
ピアニスト
雅楽

〈平成20年度〉

文 化 賞
文化功労賞

文化奨励賞

松井 彬
坂田 稔
細畠 清一（静峰）
西中 千人
劇団ZERO

能楽師（喜多流）
写真家
書道家
ガラス造形作家
劇団

〈平成21年度〉

文 化 賞
文化功労賞

文化奨励賞

三尾 功（八朔）
駒井 則彦
斉藤 言子
徳田 直季
わかやま絵本の会

近世地方史研究家
医学博士（文化団体代表）
声楽家
写真家
郷土絵本発行

〈平成22年度〉

文 化 賞
文化功労賞

文化奨励賞

岡田 脩（脩克）
倉田 純三
由木 毅
山本 通広（桂 枝曾丸）
演劇集団和歌山

華道家
洋画家
写真家
落語家
劇団

〈平成23年度〉

文 化 賞
文化功労賞
文化奨励賞

森川 隆之
池下 章裕
村田 千佳
南葵史談会

作曲家
CGイラストレーター
ピアニスト
郷土史研究

〈平成24年度〉

文 化 賞
文化功労賞
文化奨励賞

及川 眠子
一般社団法人和歌山青年会議所
土井 久幸
水軒の浜に松を植える会

作詞家
地域・文化活動
洋画家
文化財保護活動

〈平成25年度〉

文 化 賞
文化功労賞
文化奨励賞

三浦 圭子（啓子）
神保 和彦
加藤佐喜子（芳榮）
岡本 玲
NPO紀州お祭りプロジェクト

グラス造形作家
歌手・歌謡指導者
吟詠家
女優
地域・文化交流

〈平成26年度〉

文 化 賞
文化功労賞
文化奨励賞

小川加代子（華瓣）
井谷 雅三（まさみち）
シルビア・グウォズ
岡田 芳和
特定非営利活動法人
和歌の浦万葉薪能の会

水墨画家
歌人
国際交流
華道家
能・狂言

〈平成27年度〉

文 化 賞
文化功労賞
文化奨励賞

岩橋 延直
味村 正弘
清水 由朗
上島 幸恵
和歌山ジャズプレーヤーズ協会
（WAJA）

文化活動・国際交流
調理師（フランス料理）
日本画家
声楽家
ジャズ音楽

〈平成28年度〉

文 化 賞
文化功労賞
文化奨励賞

名手 隆子（朱舟）
兵谷 晶子（杵屋 栄七珠）
森 久美子
北島 佳奈
孫市の会

書家
伝統文化（長唄）
フラメンコ舞踊家
ヴァイオリニスト
地域文化活動

〈平成29年度〉

文 化 賞
文化功労賞
文化奨励賞

尾崎 好昭（斎晃）
恩田 雅和
西 陽子
寺下真理子
トンガの鼻自然クラブ

版画家（木版画）
文学・芸能研究
箏曲家
ヴァイオリニスト
文化財保護活動

〈平成30年度〉

文 化 賞
文化功労賞

安田 言子（斉藤 言子）
小澤 悦子（小澤 清湖）
多田 佳奈子
中谷 政文
和歌山市語り部クラブ

声楽家
書家
声楽家・演出家
ピアニスト
郷土歴史案内

〈令和元年度〉

文 化 賞
文化功労賞

杉原 治
永廣 禎夫
木下 伸市（木乃下 真市）
前田 和紀
玉津島保存会

合唱指揮者
日本文学研究
津軽三味線奏者
映画プロデューサー
文化財保護活動

〈令和2年度〉

文 化 賞
文化功労賞

H Y D E
志賀 啓二
ユズル・ジム・コジマ
高田 友紀子（たかだ ゆき子）
山東まちづくり会

音楽家
伝統工芸
国際交流
児童文学作家
文化活動

〈令和3年度〉

文 化 賞
文化功労賞

宮本 勝浩
森本 光子
金子 達雄
宮井 愛子
いきいきシニアわかやま

経済学者
地域文化活動家
化学者
ピアニスト
地域福祉文化活動

〈令和4年度〉

文 化 賞
文化功労賞

小山 譽城
有吉 玉青
岡崎 由美子
木ノ下 裕一
和歌山フラメンコ協会

歴史学者
作家
洋画家
補綴家、ドラマトゥルク
洋舞

〈令和5年度〉

文 化 賞
文化功労賞

味村 正弘
江田 司
水島 大二
久保 美雪
和歌山市民オペラ協会

食文化（フランス料理）
指揮者
城郭研究
声楽家
舞台芸術

〈令和6年度〉

文 化 賞
文化功労賞

新井 貞子
岡部 たかし
寺西 一巳
小寺 香奈
和歌山県腹話術協会

マリンバ奏者
俳優
ヴァイオリニスト
ユーフォニアム奏者
腹話術

和歌山市歌

Lento maestosamente

佐藤 春夫 作詞
山田 耕筰 作曲

こ れ な ん か い の し ず め ぞ と — な
み よ き の か わ の か わ め ぐ ち に — み
あ に ば い え ん を ほ こ ら ん や — ふ

ん りゅう こ う が こ こ — ろ ざ し — ひ
ん しゅう た ち て ほ う — け ん の — ゆ
う こう ゆ か し こ の — あ た り — た

そ め し し ろ は ふ り に し — を — じよ
め ふ き は ら いる あ ら た よ — の — と
づ な き わ た る あ か の う — ら — こ

う か の い き — ぞ あ ら た な る — ほ
し に さ ん ぎょ — う お こ り た り — ほ
う や の や ま — も ち か く し て — ほ

し — う つ り — も の か わ る と — も — と
し — う つ り — も の か わ る と — も — と
し — う つ り — も の か わ る と — も — と

こ わ か の ま ち わ — か や ま し —
こ わ か の ま ま ち わ — か や ま し —
こ わ か の ま ま ち わ — か や ま し —

和歌山市市歌

一、これ南海の鎮めぞと
南龍公が志

潜めし城は旧りにしを
城下の意気ぞ新なる

星移り物変るとも
常若の市和歌山市

二、見よ紀の川の川口に
民衆起ちて封建の

夢吹き払い新時代の
都市に産業興りたり

星移り物変るとも
常若の市和歌山市

三、豈煤煙を誇らんや
風光ゆかしこの辺り

鶴鳴き渡る和歌の浦
高野の山も近くして

星移り物変るとも
常若の市和歌山市